



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9012 URL http://www.chichibu-railway.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,635	△7.6	106	△22.4	103	△20.5	184	61.5
28年3月期第2四半期	2,851	2.3	136	25.7	129	31.7	114	25.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 236百万円 (118.2%) 28年3月期第2四半期 108百万円 (31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	12.44	—
28年3月期第2四半期	7.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	22,929	10,491	45.7	704.87
28年3月期	22,958	10,255	44.6	688.97

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,480百万円 28年3月期 10,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	2.2	160	8.1	150	7.9	210	60.3	14.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	15,000,000株	28年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	131,597株	28年3月期	131,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	14,868,560株	28年3月期2Q	14,869,362株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. 補足情報 .....	9
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は2,635百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は106百万円（同22.4%減）、経常利益は103百万円（同20.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円（同61.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### [鉄道事業]

旅客部門におきましては、沿線の就学人口の減少等の影響により前年同期に比べ定期旅客収入は減少いたしました。

また、「わくわく鉄道フェスタ」の開催や同業他社と協力したハイキングの他、SL列車におきましても関係団体の協力のもと各種イベントを企画するなど積極的な旅客誘致に努めました。しかしながら、8月後半から続いて発生した台風等の天候不順の影響を受け、前年同期に比べ定期外旅客収入は減少いたしました。

貨物部門におきましては、輸送量が減少したことに伴い貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は電力料金が値下がりに加え、経費削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は1,683百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は12百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

#### [不動産事業]

不動産事業におきましては、広告媒体を積極的に活用したことにより賃貸物件の入居率が上がり、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。分譲地販売及び請負工事収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は168百万円（前年同期比30.6%減）、営業利益は80百万円（同0.9%減）となりました。

#### [観光事業]

観光事業におきましては、長瀬への誘客を促進するため旅行者への営業活動を継続して実施したほか、世界のカブトムシ展の開催や宝登山フォーリーフガーデンをオープンするなど各施設で様々な企画を実施いたしました。しかしながら、長瀬ラインくだりの収入は、天候不順の影響を受け運休が続いたことから、前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は191百万円（前年同期比10.7%減）、営業利益は18百万円（同46.0%減）となりました。

#### [バス事業]

バス事業におきましては、営業収益は214百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は23百万円（同36.9%減）となりました。

#### [その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は575百万円（前年同期比7.1%減）、営業損失は12百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し22,929百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、61百万円減少し1,512百万円、固定資産は32百万円増加し21,417百万円となりました。流動資産減少の主な要因は現金及び預金、その他に含まれる鉄道事業に係る補助金の未収金がそれぞれ減少したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ265百万円減少し12,437百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ111百万円減少し3,409百万円、固定負債は153百万円減少し9,028百万円となりました。流動負債減少の主な要因は支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金がそれぞれ減少したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金及び退職給付に係る負債がそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ236百万円増加し10,491百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	948,299	861,897
受取手形及び売掛金	185,225	217,655
分譲土地建物	136,806	136,792
商品及び製品	28,779	29,358
原材料及び貯蔵品	95,418	112,136
繰延税金資産	—	90,550
その他	180,320	68,348
貸倒引当金	△1,181	△4,608
流動資産合計	1,573,669	1,512,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,775,699	13,785,451
減価償却累計額	△9,365,781	△9,445,490
建物及び構築物（純額）	4,409,917	4,339,961
機械装置及び運搬具	4,885,564	4,899,722
減価償却累計額	△4,280,570	△4,296,072
機械装置及び運搬具（純額）	604,994	603,649
土地	15,566,133	15,584,146
その他	654,908	687,253
減価償却累計額	△587,266	△593,015
その他（純額）	67,642	94,238
有形固定資産合計	20,648,687	20,621,996
無形固定資産		
投資その他の資産	79,892	73,169
投資有価証券	613,803	678,826
繰延税金資産	3,353	3,487
その他	59,594	60,745
貸倒引当金	△20,773	△21,153
投資その他の資産合計	655,979	721,905
固定資産合計	21,384,558	21,417,071
資産合計	22,958,227	22,929,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,156	144,500
短期借入金	1,133,498	1,133,498
1年内返済予定の長期借入金	1,199,979	1,119,404
未払法人税等	31,200	25,094
未払消費税等	53,553	61,144
繰延税金負債	220	—
賞与引当金	196,301	202,833
その他	734,410	722,888
流動負債合計	3,521,320	3,409,364
固定負債		
長期借入金	2,439,561	2,280,481
繰延税金負債	162,402	176,863
再評価に係る繰延税金負債	4,554,400	4,554,400
退職給付に係る負債	1,839,544	1,818,981
特別修繕引当金	83,200	93,600
長期預り金	102,587	103,879
固定負債合計	9,181,695	9,028,205
負債合計	12,703,015	12,437,569
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,915	21,916
利益剰余金	△842,409	△657,445
自己株式	△28,412	△28,428
株主資本合計	△98,906	86,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371,909	417,086
土地再評価差額金	9,984,234	9,984,234
退職給付に係る調整累計額	△13,377	△7,106
その他の包括利益累計額合計	10,342,766	10,394,214
非支配株主持分	11,351	11,376
純資産合計	10,255,211	10,491,633
負債純資産合計	22,958,227	22,929,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収益	2,851,396	2,635,872
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,020,925	1,863,875
販売費及び一般管理費	693,785	665,984
営業費合計	2,714,711	2,529,860
営業利益	136,684	106,012
営業外収益		
受取利息	97	24
受取配当金	7,059	6,914
土地物件貸付料	11,052	13,626
助成金収入	150	—
その他	6,803	5,187
営業外収益合計	25,163	25,753
営業外費用		
支払利息	29,322	25,078
その他	2,627	3,453
営業外費用合計	31,950	28,531
経常利益	129,897	103,233
特別利益		
固定資産売却益	5,079	729
工事負担金等受入額	78,043	10,361
補助金	100	226
その他	418	2,236
特別利益合計	83,641	13,553
特別損失		
固定資産圧縮損	78,376	11,274
固定資産除却損	—	21
特別損失合計	78,376	11,295
税金等調整前四半期純利益	135,163	105,491
法人税、住民税及び事業税	20,347	16,792
法人税等調整額	237	△96,275
法人税等合計	20,584	△79,482
四半期純利益	114,578	184,974
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,509	184,963



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	114,578	184,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,419	45,190
退職給付に係る調整額	6,221	6,271
その他の包括利益合計	△6,198	51,462
四半期包括利益	108,379	236,436
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,314	236,411
非支配株主に係る四半期包括利益	65	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,746,159	238,907	213,955	224,414	2,423,436	427,960	2,851,396	—	2,851,396
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	6,899	3,312	405	347	10,964	191,342	202,307	△202,307	—
計	1,753,059	242,219	214,360	224,762	2,434,401	619,302	3,053,704	△202,307	2,851,396
セグメント 利益又は損 失(△)	△17,544	81,150	35,040	37,024	135,671	△8,040	127,631	9,053	136,684

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,053千円には、固定資産未実現損益の消去額682千円、セグメント間取引消去8,370千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,678,390	164,820	191,125	213,518	2,247,854	388,018	2,635,872	—	2,635,872
セグメント 間での内 部営業収 益又は振 替高	5,394	3,312	288	982	9,977	187,134	197,111	△197,111	—
計	1,683,784	168,132	191,413	214,500	2,257,831	575,152	2,832,983	△197,111	2,635,872
セグメント 利益又は損 失 (△)	△12,151	80,386	18,916	23,352	110,503	△12,181	98,322	7,689	106,012

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7,689千円には、固定資産未実現損益の消去額758千円、セグメント間取引消去6,930千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	2,721	2,766	△1.6
	定期外	〃	1,497	1,522	△1.6
	計	〃	4,218	4,288	△1.6
貨物トン数		千トン	918	977	△6.0
旅客収入	定期	百万円	381	390	△2.4
	定期外	〃	622	639	△2.6
	計	〃	1,004	1,030	△2.5
貨物収入		〃	550	583	△5.6